

— プライマリ小児科医に知ってほしいこと —

# 自閉症スペクトラム障害 (ASD; Autism Spectrum Disorder) の早期発見のポイント

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所  
児童・思春期精神保健研究部

# ASDの行動特徴に敏感になる

## ■ 必須症状

- ・相互的な対人関係が苦手
- ・コミュニケーションが難しい
- ・関心や行動の限局的パターン化傾向

## ■ しばしばみられる症状

- ・感覚過敏や鈍麻・多動・不器用
- ・アンバランスな知能

# ASDの早期発見

## ■ 目的

- ・ASD児を早期発見して早期支援につなげる
- ・児童期・青年期・成人期それぞれのライフステージにおけるニーズにあった途切れのない支援につなげる
- ・診断をつけることが主眼ではなく、ニーズに合った支援の導入が目的である

## ■ 定義

- ・ASDの子どもと家族のニーズを早期に発見すること

## ■ 早期発見は可能か？

早期発見が可能です

- ・ほとんどのASD児では**生後18～24か月で早期徴候**が確認できる
- \* 自閉症に特化したスクリーニングとして

**M-CHAT (Modified –Checklist for Autism in Toddlers; 乳幼児期自閉症  
チェックリスト修正版)**が有用

# ASDの早期発見にどういうメリットがあるか？

## ■ 早期発見から早期支援につながります

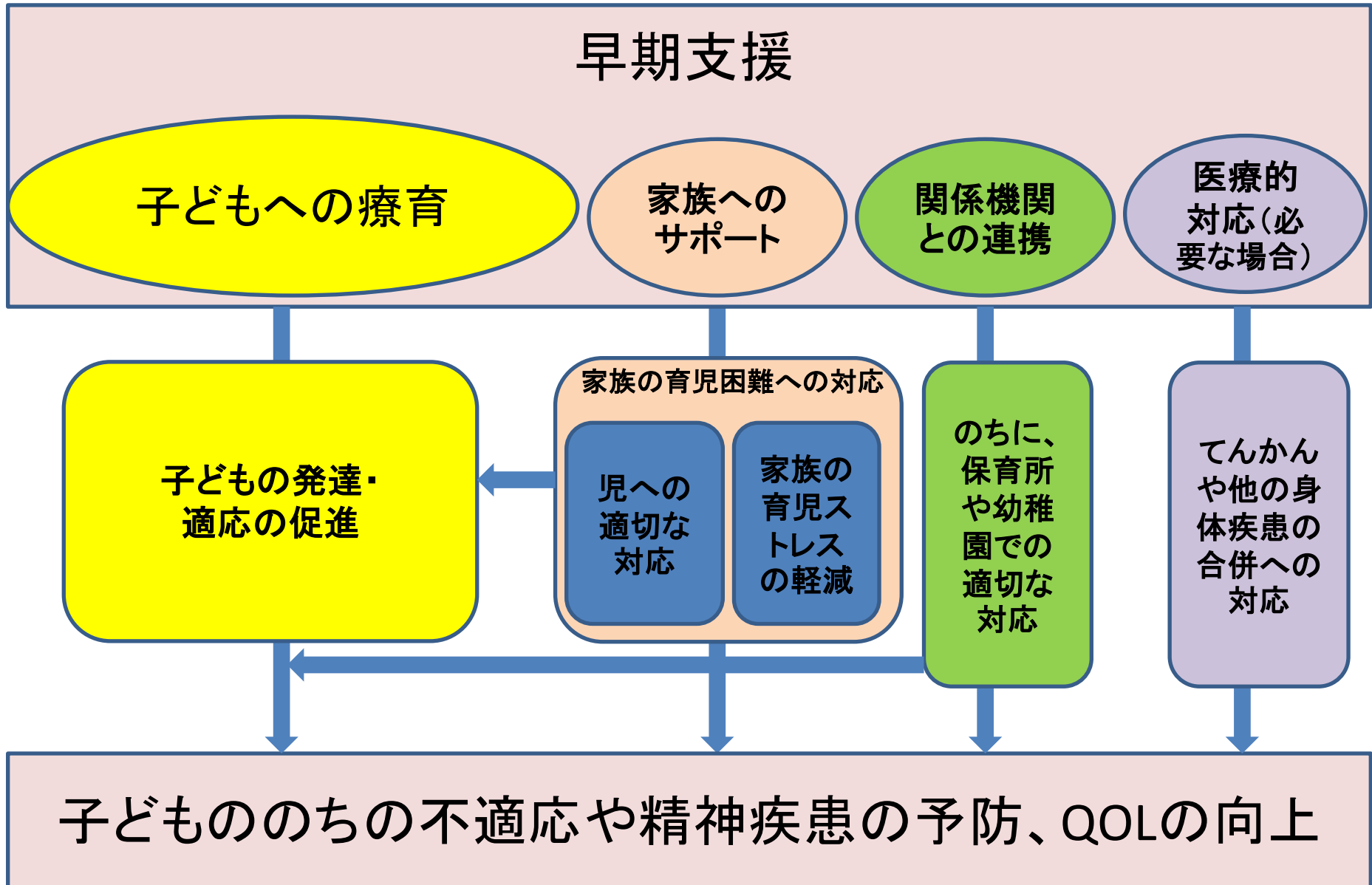
- ・早期支援では、子どもへの療育、家族へのサポート、関係機関との連携を通じて地域で子どもと家族のニーズに応じた子育て支援を行う

## ■ 多くのニーズのある子どもたちへの支援につながります

### ASDは決して少なくありません

- ・**約1%(0.4~1.2%)の有病率** (CDC; アメリカ疾病予防管理センター, 2006)
- ・最近の報告では、韓国で2.64%(一般人口1.89%+ハイリスク群0.75%)  
通常学級の中で未診断、未治療のケースが多い。(Kim et al, Am J Psychiatry, 2011)

# ASD児とその家族への早期支援に期待できること



# 小児科医がファーストタッチのチャンスを持っている！

○ 小児科医は子どもの発達に最も早くから継続して関わる唯一の専門家である。

## ◆乳幼児健診(特に1歳半)

- ・集団健診
- ・個別健診では、小児科医だけに子どもの発達を診るチャンスがある

## ◆日々の一般診療場面

- ・かかりつけ医は、子どもの成長を繰り返し診るチャンスがある
- ・身体疾患で受診する外来・入院患者をみる担当医として、子どもの発達を診るチャンスがある

**社会性の発達も同時に診ましょう**

# 現状の乳幼児健診では 社会性発達に関する視点が不十分

- 身体面の発達・発育のスクリーニングが主である
- ことばの発達の遅れの目立たない発達障害は発見しにくい

社会性の発達も診ましよう



- 医師による子ども一人あたりの診察時間は非常に短く、日常場面とも異なり、診察の場面のみでASD児をスクリーニングすることは困難である
- 個別健診では、小児科医しか子どもに接しない
- 地域によっては、普段小児を扱わない他科医師も乳幼児健診を担っている

# 小児医療現場で簡便なスクリーニングは 実用的か？

■簡便なスクリーニングツール(M-CHAT)が使えるならば、  
専門機関に紹介すべきケースを絞れる

## ツールの有用性

- この年齢帯(18,24M)で重要な社会性の発達を  
チェックできる
- その結果、ASDのスクリーニングにつながる
- 診察場面以外の、日常の様子を知ることができる
- 医師以外のコメディカルのリソースも活用できる
- 療育機関など専門機関に紹介する根拠として  
使える



# 1歳6カ月でわかること

社会性

言語・認知面

運動面

言語発達遅滞

生後9カ月ではわからなかった軽度の運動遅滞が18カ月で顕著にわかることもある

ほとんどのASDでは  
生後18カ月で早期徴候  
(定型発達では通常芽生えが期待される対人コミュニケーション行動の芽生えがない)が確認  
できる

中等度～重度の  
知的障害  
軽度の知的障害

自閉症に特化したスクリーニング

全般的発達スクリーニング  
(言語認知面、運動面)

- ◆ ASDの過半数は全般的発達に遅れがない
- ◆ 遅れのないASDは全般的発達スクリーニングだけでは早期発見が難しい

# 社会性(対人コミュニケーション)の発達の日安とポイント

～小児科医の必要な基礎知識として知ってほしいこと～

ノンバーバルな社会性の土台は1歳半までに飛躍的に発達します

生後10カ月前

大人とのやりとり遊びを一緒に楽しめる

- 目が合う
- 名前を呼ぶと反応する
- 微笑みかけると微笑み返す
- 他の子どもに興味を示す

11か月～12か月

大人と興味を重ね合わせるようになる(共同注意)

- 大人の注意をさかんに引こうとする
- 大人のまねをする
- 大人が指したものを見る
- 興味があるものを指さして伝える

15か月～17か月

大人との共有の方法がさらに複雑になる

- 興味があるものを見せに持ってくる
- 大人の視線を追って、大人が見ているものを見る
- いつもと違うことがあると、親の顔を確認する

ASD児では特に1歳前後の社会性の発達で徐々に問題が明らかになってきます。

# 社会性発達のスクリーニングとして M-CHATをご紹介します

言葉が出る前の社会的行動に注目します

## ◆注意(興味)をシェアする(共同注意)

- ・大人が指さしするとその方向をみるか
- ・興味のあるものを指さしで伝えるか
- ・興味のあるものを見せに持ってくるか
- ・大人が見ているものを一緒にみるか

## ◆人への関心(对人的関心)

- ・他児への興味があるか
- ・人のまねをするか

## ◆对人的なやり取り(対人情動的反応性)

- ・目が合うか
- ・微笑みがえしするか
- ・名前を呼ぶと反応するか
- ・親の注意を自分にむけようとするか

## ◆新しいものや場面に接したときに親の反応を確かめるか(社会的参照)

# M-CHATの具体的な質問例(1)

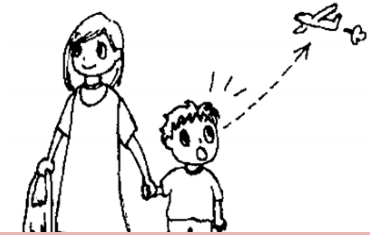
～注意(興味)をシェアする(共同注意)～

## ■「何かに興味をもった時、指をさして伝えようしますか？」

- ・「欲しいものを指さして教える」とは異なりここでは興味を持ったものを指さしするか、興味はもっても共有しようとしないうか



飛行機を見つけて指さす



飛行機に興味はもつが指ささない、一人でつぶやく、など

## ■「あなたに見てほしいモノがある時、それを見せに持ってきますか？」

- ・興味を持ったものを共有しようとするのか自分だけで楽しんでいるのかどうか
- ・何か手助けを求めてもってくるのはここでは含まない

クマのぬいぐるみを見せに親のところへ持ってくる



正しい例 ○

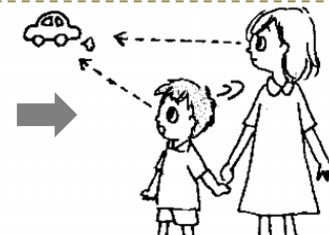


## ■「あなたが部屋の中の離れたところにあるオモチャを指さすと、お子さんはその方向を見ますか？」

- ・大人の指さしに対して興味を持ち、指さした先の目的物を見るのか、あるいは関心を持たない、大人の指を見るだけで大人の意図が分からないのかどうか



まず親が車に注目していることに気付く



親の視線を追って親が注目した車を見る

## ■「あなたが見ているモノを、お子さんも一緒に見ますか？」

- ・大人の視線の方向に興味を持って見るか、あるいは関心を持たない、大人が注目していることに気付かない、もしくは分からないか

# M-CHATの具体的な質問例(2)

## ～社会的参照～

### ■「いつもと違うことがあると、あなたの顔を見て反応を確かめますか？」

・いつもと違うことがあったときそれが安全なのか、さわって大丈夫かなど親の表情など反応を見て確かめるかどうか



新しい動物(犬)を見つける



親の顔を見て、その反応を確かめる

## ～人への関心(对人的関心)～

### ■「他の子どもに興味がありますか？」

・他の子どもに興味を持ってじっとみたり、なんらかのアクションを起こすのかあるいは、ひとり遊びに没頭しがちで他児に関心を持たないかどうか



### ■「あなたがすることをまねしますか？(動作や顔まね、など)」

・親の顔の表情をまねたり、動作(包丁で食材を切る、など)をまねしたりするのか、あるいは、まねはほとんどしないのかどうか

# M-CHATの具体的な質問例(3)

～対人的なやり取り(対人情動的反応性)～

## ■「1, 2秒より長く、あなたの目を見つめますか？」

- ・目を合わせるか、あるいは合わせてもすぐにそらせたり、全く合わせないか



## ■「あなたがお子さんの顔を見たり、笑いかけると、笑顔返してきますか？」

- ・相手の笑顔から喜びを読み取って、同調して笑顔返すかどうか



## ■「あなたが名前を呼ぶと、反応しますか？」

- ・名前を呼んだ相手の意図に関心を持って  
反応するかどうか、自分の活動の没頭を優先するかどうか



## ■「あなたの注意を、自分の方に引こうとしますか？」

- ・親の関心を引いて注目されたい、楽しみを共有したいと思って行動するのか、あるいは、親の関心を引くことに無関心かどうか

# M-CHATの具体的な質問例(4)

～感覚遊びからごっこ遊びへ～

■「電話の受話器を耳にあててしゃべるマネをしたり、人形やその他のモノを使ってごっこ遊びしますか？」

- ・おもちゃの電話でモシモシのまねをしたり、人形に食べさせたり飲ませるふりをするなどごっこ遊びをするかどうか



■「車や積木などのオモチャを、口に入れたり触ったり落としたりでなく、オモチャに合った遊び方をしますか？」

- ・おもちゃを口に入れたり触ったり落としたり感覚を楽しむ段階を過ぎて、それぞれのおもちゃの機能を理解してそれに合った遊び(積木を重ねて遊ぶ、など)に徐々に移行していくかどうか



# 育児困難があれば、さらに丁寧に聞いていきましょう

- 社会性や遊びの面だけでなく、ASD児に特異的な行動がある
- こだわり、かんしゃく、落ち着きのなさなどの行動面や、睡眠や感覚、摂食の問題など生活面も含め、**育児の困難さを中心に**、丁寧に積極的に情報を集める
- あら探しにならないよう、保護者の気持ちを慮り、育児支援としての姿勢を忘れないようにしましょう





# ASDに特異的な行動

## ◆限局した興味

- ・独特なものや興味のあるものへの異常なほどの関心(マーク、道路標識など)

## ◆特定の順番、手順へのこだわり

- ・いつもと違う道順、おもちゃを並べるやり方を変えられるとかんしゃくを起こす、など

## ◆常同性

- ・手をひらひらさせる、ねじらせる(手指の衝動的運動)
- ・同じ行動を繰り返す(つま先歩き、くるくる回る、跳びはね歩き、など)

## ◆感覚没頭

- ・ずっとものの匂いをかぎたがる、など

## ◆ものの一部への関心

- ・おもちゃの車のタイヤをぐるぐる回すことに没頭する、など

## ◆音や知覚への過敏性

- ・聴覚過敏  
(日常的な音または特定の音に対して耳ふさぎする、にぎやかなところへ行くのを嫌がる、など)
- ・触覚過敏(手つなぎや抱っこを嫌がる、など)

# M-CHATの具体的な質問例(5)

～自閉症に特異的な行動～

## ◆「ある種の音に、過敏に反応して不機嫌になりますか？(耳をふさぐなど)」

- ・掃除機などの家電製品や乗り物、その他特定の音(人の咳など)に対して普通でないほど取り乱すかどうか



## ◆「顔の近くで指をひらひら動かすなどの変わった癖がありますか？」

- ・手指の奇妙な動かし方(手をひらひら、指をねじらせる、など)をする癖があるかどうか

## ◆「何もない宙をじーっと見つめたり、目的なくひたすらうろろろすることがありますか？」

- ・自身の感覚に没頭して(天井を見ていたり、窓の外の木などに夢中になって)ボーっとしているように見えたり、傍目には目的が分からない行動に没頭しているかどうか

# まとめ

- ◆ ASDの早期発見とそれに続く早期支援は、子どもの発達を促すだけでなく、家族の育児困難に対応し、関係機関と連携する中で、その後の不適応や精神疾患を予防するなど、それぞれのライフステージでの継続的な支援の出発点となります
- ◆ 1歳半健診を利用することなどにより、生後18～24か月の段階でASDを早期発見することができます
- ◆ 小児科医は、ASDを早期発見できるもっとも有力な立場にあります
- ◆ ASDの特徴、早期徴候を熟知し、社会性の発達も視野に入れてすべての子どもを診ることが大切です